

## 発刊のことば

本財団では、東京の私学の発展のために海外の教育事情を把握することは重要であるとの判断から、平成24年度あらたに私立学校教員海外研修を本格実施いたしました。

令和2年度からの3年間、コロナ禍の影響を受け、事業を休止しておりましたが、令和5年度の再開を経て、本年度も開催することができ、大変嬉しく思います。

今年度は「ICT教育、ウェルビーイングを主体とした教育、アクティブ・ラーニングの手法及び職業教育」をテーマとし、国が教育の質と公平性を重視し、ICT教育先進国として知られるフィンランドを訪問いたしました。

フィンランドは、ICT教育、ウェルビーイングを主体とした教育、アクティブ・ラーニングの手法及び職業教育の範とするに最適な環境と知識および技術を有しています。

今回の視察では、オウルで公立の幼稚園、小中高および職業学校を、ヘルシンキで私立の中高を視察させていただきました。

団長として研修団を統括していただきました本財団評議員の伊藤正徳先生をはじめ、視察先の各学校並びに各教育関係機関のみなさまには、多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございました。

この度、その結果をとりまとめ、報告書として刊行いたしました。この報告書が私立学校関係者をはじめ、広く、教育に関わる方々の参考として活用いただければ幸いです。

令和7年11月

公益財団法人東京都私学財団

理事長 長塚篤夫